

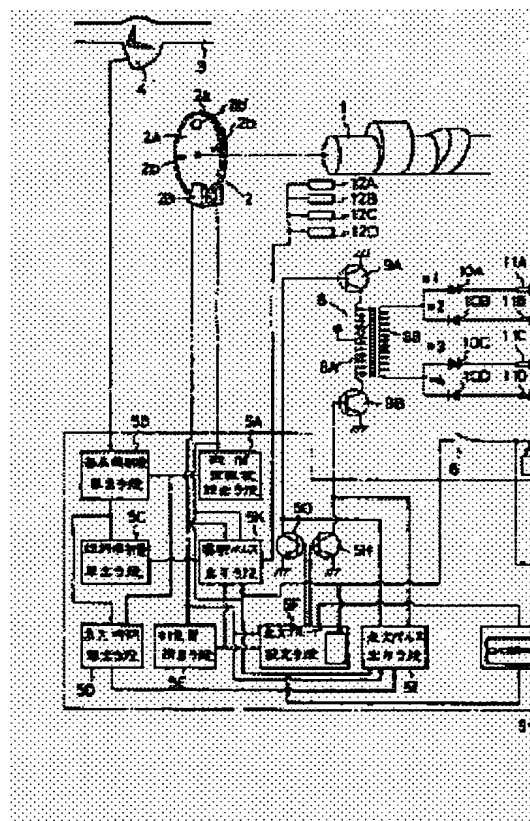
CYLINDER DISCRIMINATOR FOR MULTI-CYLINDER INTERNAL- COMBUSTION E

Patent number: JP60240875
Publication date: 1985-11-29
Inventor: ISHIGAMI KAZUHIRO
Applicant: NISSAN JIDOSHA KK
Classification:
- international: F02P7/077; F02P5/15; F02P7/02
- european:
Application number: JP19840094667 19840514
Priority number(s):

Abstract of JP60240875

PURPOSE: To realize early firing thus to improve the starting performance considerably by storing the crank angle position of each cylinder under engine stall and deciding the crank angle position state of each cylinder even at first rotation of engine on the basis of said stored data.

CONSTITUTION: A crank angle sensor 2 is fixed to the cam shaft 1 for driving an intake/discharge valve rotatable synchronously with the engine to produce the referential position signal for each cylinder. The engine rotation is detected 5A in a control unit 5 on the basis of the output from said sensor 2 to calculate 5B the basic injection in accordance to the output from an air-flow meter 4 and the engine rotation. Memory means 5F for sequentially storing the output signals from means 5F for setting a cylinder group to perform next time ignition on the basis of a referential position signal and #1 cylinder detection signal is provided in the control unit 5. The data stored during stall of engine is stored until #1 cylinder detection signal is fed at the start of engine thus to set the cylinder group to be ignited.



(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開昭60-240875

(43) 公開日 昭和60年(1985)11月29日

| FI | |
|---|--|
| (51) Int. Cl. ⁸ F 0 2 P 7/077 5/15 7/02 | 識別記号 |
| (21) 出願番号 特願昭59-94667 | (71) 出願人 989999999 日産自動車株式会社 神奈川 |
| (22) 出願日 昭和59年(1984)5月14日 | (72) 発明者 石上 和宏 * |

審査請求 未請求 請求項の数1 (全8頁)(10)

(54)【発明の名称】多気筒内燃機関の気筒判別装置

(57)【要約】
要約テキストはありません。

【特許請求の範囲】

【請求項1】多気筒内燃機関の特定の気筒の所定のクランク角位置を検出する手段と、該検出手段からの信号に基づいて各気筒のクランク角位置状態を検出する手段と、機関停止時における各気筒のクランク角位置状態を記憶する手段と、機関始動時機関回転が開始されてから

前記特定気筒の所定のクランク角位置番号を最初に検出するまでの間に、前記記憶手段に記憶されたデータに基づいて各気筒のクランク角位置状態を検出する手段とを設けて構成したことを特徴とする多気筒内燃機関の気筒判別装置。

【発明の詳細な説明】

詳細な説明テキストはありません。

【図面の簡単な説明】

図面の簡単な説明テキストはありません。

①出 販 人 日産自動車株式会社
②代 理 人 奔士 佐島 隆二 様
地区内 横浜市神奈川区宝町2番地

したことを特徴とする多気質内燃機関の取組状況。

● 発明の詳細な説明

(技術分野)

本発明は、多気質内燃機関において、点火時期調整材料等から成る多気質調整材または多気質調整剤を各気筒毎に所定の位置で行われる制御に際し、制御を行う気筒を選択して点検したり、必要に応じて調整を行うことに関するものである。

また、特開第7-8238号公報にも示されるように、各気筒の吸入口行程にタイミングを合わせながら、各気筒毎に燃料噴射を行う（シラントジャルイ・制御システム）制御装置がある。このものにおける調整のタイミング位置の制御は、カム軸と同期して同時に実行する円板に各気筒の位置に対応させて設けたスリットを各気筒ピストンアップを検出し

本発明は、多気筒内燃機関において、点火や燃

第一図は、本発明に係る気動料装置を利用した点火及び燃料噴射制御装置の一実施例を示す。図において、４サイクル気筒機関の燃焼室に同期して回転する吸・排気弁駆動用のカム軸１の一端部にはクランク角センサ２が設けられる。このクランク角センサ２はカム軸１端部に固定された磁石アレー２と、磁性ピックアップ２Ａの間接的に接続されてクランク角センサ２Ｂとして検出される。

(發明の概要)

このため、本発明は、第一図に示すように特定位置の所定のクラウン角位置を抽出する手段と、該抽出手段から得られた信号に基づいて各位置のクラウン角位置を抽出する手段と、該抽出手段にお

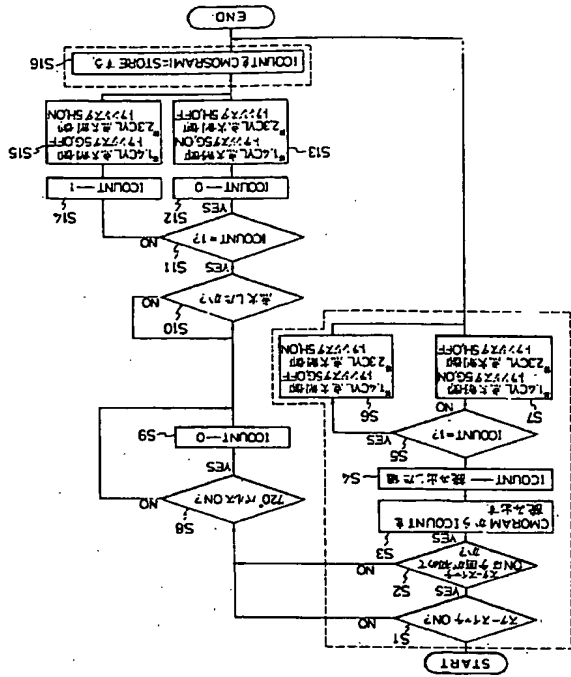
また、機関の取次通路は上流部分には吸入空気管を設け、吐出するエアフロメータが設けられる。これらタンク角センサ及びエアフロメータからの信号を、点火及び燃料喷射制御を行うコンピュータユニットに入力される。コンピュータユニットは図示のような各種手段を備えて構成される。

特開昭60-240875(7)

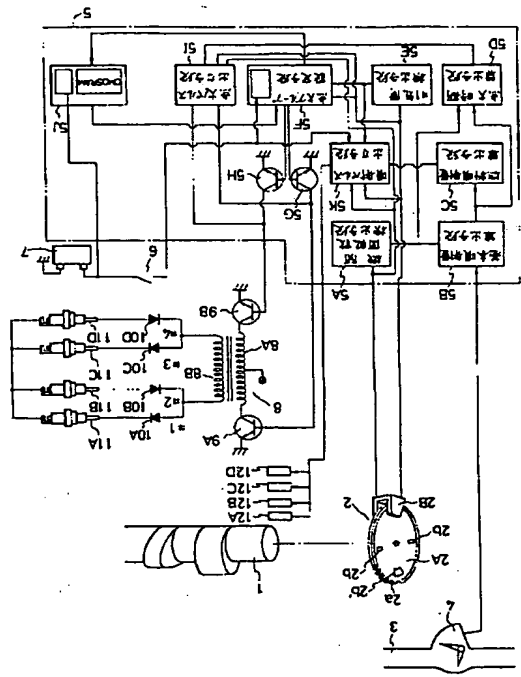
第1図



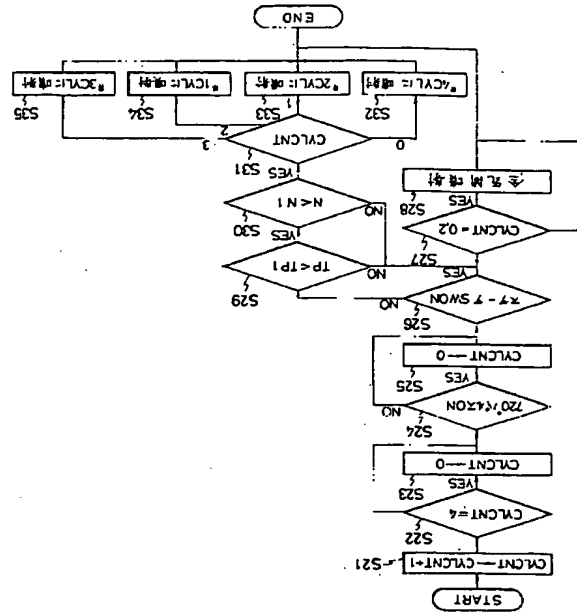
特開昭60-240875(8)



第3図



第2図



第4図